

小野地域自治会連合会との意見交換会

※ 意見交換会での議員の発言は、市議会としての総意ではなく、あくまで議員個人の意見です。

- ◎ **日 時** 令和4年8月3日（水）午後6時30分から午後8時まで
- ◎ **場 所** 小野公民館
- ◎ **出席議員** 10名
- ◎ **小野地域自治会連合会参加人数** 19名

テーマ1「高齢化社会の現状と課題（公共交通）」

（Aさん）

小野地区の現状について

- ・ 生活交通について、地区で協議を行っているが進展していない。
- ・ 困っているのは、バス・タクシーが使いにくいこと。
- ・ 行政は調査してデータを取っているが、久兼から医療センターに行くには1日かかる。防府駅を経由するから11時20分の便を逃すと4時間待たなければならない。
- ・ 高齢者のバス乗降が困る。従ってタクシーになるがタクシー券を使っても往復6千円かかる。それをフォローしなければならない。
- ・ 食料品は宅配で苦勞していないが、日用品はやはり公共交通を使わなければならない。
- ・ バス停までが遠い（久兼地区は平たんではない）
- ・ バス乗降時に転びそうになった。

（Bさん）

- ・ バス停までの距離について、特に高齢者は歩いて行くのが難しい。地域の協力が必要。

（Cさん）

- ・ 小野地区は高齢化率50%であり、介護認定で免許返納する方もいる。そういった方をサポートしていくこと、地域で助け合っていくことが大切と考える。そのうえで公共のサポートを。

（A議員）

- ・ 公共交通の件は10年間議会で議論しているが全く進んでいない。解決したいという考えはみな同じ。

（B議員）

- ・ H27年から切畑でデマンドタクシー。（情報提供）
- ・ 富海地区でNPO法人が支援を行っている。（無料バス）（情報提供）
- ・ 防長交通に年間7,500万円程度助成
- ・ 自治会運営の運搬業務を行っているところもある。
- ・ 行政としてどこまでできるのか、議会でも考えていきたい。

(C議員)

- ・ 先日、小野地区で会合を持ったが、具体的な話にはなっていない。
- ・ 小野モデルを考えていきたい。

(Dさん)

- ・ 今話を聞くと、小野は公共に頼ったらだめだと感じた。行政からコミュニティに助成をしてもらい、各地域で行っていくべきでは。コミュニティの関係が薄れていることが、こういった問題を起こしているのではないか。

テーマ2「耕作放棄地問題」

(Cさん)

- ・ 荒廃地が増加しており、草刈りもままならない。保全会という仕組みはあるが、個人のものには対応できない。収益にならない田畑の管理を求めるのは酷であるし、自治会で対応をしていくと収拾がつかなくなる。

(A議員)

- ・ 上右田地区での方法を情報提供

(C議員)

- ・ 保全会で対応できる範囲でやっただけしている。圃場整備の話は地区によっては、進んでいる。
- ・ 各地区にあった形で進めていきたい。このテーマについては一般質問も行っている。
- ・ 5年、10年先のことを考えて対応したい。
- ・ 保全会と圃場整備だけではすべてに対応できないので、そういった個所についても考えていきたい。

(Cさん)

- ・ 農道小野牟礼線が開通した際に、この事業によって小野地区に何らかのメリットがあるなら情報をいただきたい。

(Eさん)

- ・ 地域で問題を解決していくという意見は素晴らしいと思うが、自治会の役員等も高齢化し、高齢者が高齢者の面倒を見るという現実がある。
- ・ 10年後も自治会活動ができていくのかということが心配である。

(Fさん)

- ・ 過疎地域特別措置法に準ずる形で取り組んでいかなければならないのではないかと。議会で議論したことがあるか。周東町は特別地域に指定されている。課題解決に取り組むための一歩として考えてもよいのではないかと。

(Gさん)

- ・ 圃場整備ができる場所は限られている。中山間地域の最たるところを何とかしないと限界集落になっていく。農道の整備・道路の整備をきちんとしていくことが大切である。

(Hさん)

- ・ 後継者問題について、圃場整備はいいが前提として担い手の確保が必要である。そこを議員はどう認識しているか。

(C議員)

- ・ 10年後にどうなるかを考えて圃場整備を行った。担い手はいないが5人の理事で行う。
- ・ 法人を作って形を作れば未来につながると考えている。将来的には農業大学との連携も考えられる。

(Bさん)

- ・ 久兼の圃田を守ることも地域を守ることに繋がっていく。自治会で人を育てていくことが、重要であると感じた。

(Fさん)

- ・ 久兼の圃場整備の話はかつてあったが、整備後の具体的プランの問題、経済的な問題でできなかった。

(A議員)

- ・ 現在は担い手が確保できていれば圃場整備は自己負担なしでできるようになっているので検討していただければ (情報提供)

(D議員)

- ・ 食料自給率の大切さが再認識されている。課題解決ができる可能性があるのは地方。担い手に関しては若い人にとっては稼げるかが大事、6次産業・ブランド化連携が必要。農業試験場の誘致の際に圃田等の環境が残っていることが大切。時間はかかるが、若者が農業に取り組めるような視点をともに持ちながら考えていかなければならないのではないかと思う。

(Iさん)

- ・ 高齢者が施設に入り、空き家が増えている。空き家への移住促進を進めていただければ、担い手問題の解決にもつながるのではないかと考えている。

(A議員)

- ・ 防府市は空き家バンクの取組も行っており、農地付き空き家バンクもある。都市計画課に相談していただければと思う。(情報提供)

テーマ3「通学路の安全確保」

(Bさん)

- ・ 新しい橋の建設があり、それ自体はよいことだが、車の流入が増えた。真尾側の通学路は旧態依然のままであり、危険を感じている。市に要望も行っているが、議会にも理解をいただいた上でご意見をいただきたい。

(Cさん)

- ・ 少子化対策としては、住むことでメリットが得られる地区になること(例:心身の健康、

高度な教育、スポーツ)が必要ではないか。そういったものを我々は考えていかなければならないと思う。

(E議員)

- ・ 道路標示(スピード落とせ)等を行っている。抜本的な対策はすぐには難しい。
- ・ 少子化に関しては、今のご意見と同意見である。

(D議員)

- ・ 小野には新しい家が建てられない。空き家バンクに小野の登録が非常に少ない。そこが解決できれば、課題の解消につながるのではないか。農業をしたい若者はいる。地区で課題を吸いあげていただければ、地元の3人の議員でバックアップしたい。

(Dさん)

- ・ 小野の空き家には狭隘道路、下水道がないなどの課題がある。こういった課題をクリアして空き家バンク利用をしていければ。

(Hさん)

- ・ 鈴屋で農地付き物件を購入され、新規就農した方もおられる。不動産屋と議員がコミュニケーションをとって進めていくのも一つの手法ではないかと考える。

(A議員)

- ・ かなり老朽化してから、空き家の相談をされる方が多い。空き家に関して早めの情報収集を地域の方をお願いしたい。

(Aさん)

- ・ 空き家バンクの登録件数が少ないのは、不動産会社の仲介を必要としているからではないか。地域自体がメディア等を使って発信していくことが必要ではないか。
- ・ 少子化に関しては、道路を整備し、中山間地域ではあるが15分で市街まで出られるということをアピールしていくことも必要ではないか。

(A議員)

- ・ 個人として、不動産会社を仲介しない空き家バンクの仕組みを行政に強く求めていきたい。

テーマ4「犬猫保護施設の役割と課題」

(Bさん)

- ・ NPO法人施設の横に大きな廃棄物処理場のようなものが建設されようとしているが、情報が全く入ってこなかった。先日県・市で立ち入り検査を行ったようである。当初の施設建設の際にも、情報がなく急遽住民説明会を行った。
- ・ 彼らは彼らで役割を果たしているが、イメージが良くない。
- ・ ゆめタウンのレシート入れを見ても活動は支持されているようであるが、小野地区民としては不安がある。行政からの速やかな情報提供を望む。
- ・ 議員も状況を理解した上で、行政に問いただすなりしていただきたい。(情報提供)

その他「佐波川流域のハザードマップについて」

(Dさん)

- ・ 防災ファイル全戸配布されているが、H28年の佐波川ハザードマップ洪水編の雨量は、508mmの想定である。以前は365mmであったものがH28年に改訂された。一方、土砂災害編の改訂はH24年7月で、想定雨量は365mmのままである。基準の統一が必要なのではないか。ぜひ、議会・執行部共に取り組んでほしい。